

# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり  
(予算費目名) 教育総務費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。</li> <li>すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。</li> </ul>

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

- 1教育の機会均等の推進  
 ・子供たちのよりよい教育環境を整えるため、保護者・地域住民と意見交換を行い、理解と協力を得ながら学校規模適正化を進める。
- 2教育行政の運営統括  
 ・教育行政の意思決定を行う教育長及び教育委員や実務を担う事務局及び学校職員に対して、その基礎的部分を整備する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	241,810	238,083	255,496	261,453
決算	235,872	230,390	247,013	
人件費(A)	122,860	118,260	123,660	119,460
報酬(B)	5,692	5,222	5,068	6,090
年間経費(予算又は決算+A+B)	364,424	353,872	375,741	387,003

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
規模適正化対象校での意見交換会実施率	%	100	目標	70	70	70	70
			実績	49	64	73	
教育委員の活動回数	回	60	目標	60	60	60	60
			実績	91	62	54	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- 1教育の機会均等の推進  
 ・子供たちのよりよい教育環境を提供するため、学校規模適正化を保護者・地域住民との丁寧な意見交換を通じて進める。また、学校規模適正化に伴う遠距離通学者の通学手段や公共交通の乏しい中山間地域の校外学習の移動手段を確保する。
- 2教育行政の運営統括  
 ・教育行政の意思決定を行う教育長及び教育委員や実務を担う事務局及び学校職員に対して、その基礎的部分を整備する。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- 学校規模適正化対象校(主に小規模校)6校において、意見交換会の実施等の取組を行った。
  - 統合等によって遠距離通学となった地域の小・中学校において、通学バス49路線の適切な運行を行った。
  - 統合後の学校や中山間地域等の対象となる学校30校において、地域学習や地域との関わりを継続する等の活動に対し、通学バス等を使用して移動手段の支援を行った。
  - 教委事務局施設の管理・運営等において、適切に事務を執行した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	学校規模適正化推進事業			○		9,800		1.4				
2	通園・通学バス運行事業			○		202,790	196,350	0.8			0.3	
3	中山間地域校外学習支援事業			○								
4	教育施設等管理事業					58,959	44,599	0.9		3.1		
5	教育総務運営経費					115,454	20,504	10.6		0.9	4.4	6,090
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						387,003	261,453	13.7		4.0	4.7	6,090

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 学校規模適正化推進事業

## ◇事業目的・事業対象

教育環境向上のため、地域・保護者・学校との連携の中で学校規模適正化を推進するもの。

## ◇事業の概要

学校規模適正化基本方針に基づく学校規模適正化推進事業

- ・小規模校(6学級以下)の保護者等との意見交換会の開催
- ・大規模校(25学級以上)の施設や学校運営等の状況把握
- ・はままつの教育推進会議の開催
- ・小中一貫校の検証及び今後の方向性(義務教育学校等)の検討

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H14	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,472	4,524	1,704	
	決算	1,237	3,451	1,277	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	1,237	3,451	1,277	
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)		99			
人件費 (千円)		18,900	16,800	18,200	9,800
人工	正規	2.7	2.4	2.6	1.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
規模適正化対象校での意見交換会実施率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	70	70	70	70		70
実績値	49	64	73			
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

## ◇平成29年度の事業評価

### ・平成29年度の事業の概要

学校規模適正化基本方針に基づく学校規模適正化推進事業

- ・小規模校(6学級以下)の保護者等との意見交換会の開催
- ・過大規模校(31学級以上)への現状確認
- ・学校規模適正化推進だよりの作成、関係地域への配布
- ・小中一貫教育の推進及び小中一貫校設置に向けた検討
- ・校外学習に対する移動手段の支援(学校規模適正化により統廃合が行われた中山間地域以外の市立小・中学校)
- ・平成29年4月に開校する「浜松中部学園」の開校式の開催

### ・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・学校規模適正化対象校(主に小規模校)への意見交換会は、地域の状況等を学校長と共通認識を図り、開催の必要性を見極めたうえで6校において実施した。意見交換会を実施しない学校13校においては、PTAの会議等を活用して児童推計等の情報を学校を通して保護者へ情報提供した。
- ・全校で25学級以上の過大規模校12校のうち、4校について児童の様子や施設の状況、学校運営等についての現状について学校長から聞き取りを行った。
- ・平成29年4月に統合した旧城西小、旧鏡山小の児童・保護者を対象にアンケート調査を実施し、統合後の児童の状況について把握を行った。
- ・「浜松中部学園」の開校式を開催するとともに、平成30年4月から移転する浜松中部学園放課後児童会の施設整備や安全対策に関する事柄について、開校準備会を開催して保護者・地域・学校と調整を行った。

### ・事業の見直し

実施結果

大項目  改善 小項目  情報発信 /  収集・分析 事業費  縮小 人工  拡大

- ・学校規模適正化対象校(主に小規模校)6校において保護者との意見交換会を実施した。また、学校長との意見交換を13校で実施し、地域の状況と児童推計等について共通認識を図った。
- ・「浜松中部学園」の開校式を開催するとともに、平成30年4月から移転する浜松中部学園放課後児童会の施設整備や安全対策に関する事柄について、開校準備会を開催して保護者・地域・学校と調整を行った。
- ・支援対象となる小学校5校において、校外学習の実施に伴う移動手段について支援を行った。

今後の方向性

大項目  改善 小項目  情報発信 /  収集・分析 事業費  縮小 人工  縮小

- ・浜松市学校規模適正化基本方針に基づき、引き続き意見交換会等を開催して地域の状況を把握していく。
- ・はままつの教育推進会議等により、学校規模適正化の取組状況について報告及び改善を行っていく。
- ・小規模校及び大規模校の課題解決に向けた取り組みについて、関係各課と連携を図りながら対応していく。

# 事業シート (事業名) 通園・通学バス運行事業

## ◇事業目的・事業対象

・学校規模適正化に伴う学校の統廃合及び各地域の地理的条件等により遠距離通学となる児童・生徒等が安心して利用できる通学手段を確保するため、対象地域において通学(通園)バスを運行するもの。  
 ・中山間地域などの市立小・中学校及び幼稚園で教育活動の一環として実施される校外学習について、移動手段の確保及びその経費にかかる保護者負担の軽減を図るため、活動に対する移動手段を支援するもの

## ◇事業の概要

### 【通園・通学バス】

#### ・対象

西区:北庄内幼、庄内小

北区:伊平幼、引佐北部みさと幼、都田小、引佐北部小、井伊谷小、三ヶ日東小

浜北区:宮口幼、籠玉小

天竜区:光明幼、竜川幼、気田幼、佐久間幼、光明小、上阿多古小、下阿多古小、横山小、熊小、気田小、犬居小、佐久間小、水窪小、清竜中、光が丘中、春野中、佐久間中、水窪中

#### ・運行形態 業務委託

#### ・運行車両 市車両、リース車両

### 【校外学習支援】

#### ・対象:上記に加え、次の小中学校が対象

花川小、村櫛小、西気賀小、伊目小、金指小、奥山小、平山小、尾奈小、二俣小、浦川小、引佐北部中

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	179,121	170,532	183,974	196,350
	決算	173,581	166,143	179,527	
	国・県支出		1,750	1,020	
	市債		1,700	2,500	
	その他			41,300	26,100
	一般財源	173,581	162,693	134,707	170,250
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		3,500	2,100	2,100	6,440
人工	正規	0.5	0.3	0.3	0.8
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				0.3

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
対象地域での運行実施率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・対象地域	浜松:都田小、庄内小、北庄内幼 天竜:横山小、清竜中、光が丘中、竜川幼 佐久間:佐久間小、佐久間中 引佐:井伊谷小、引佐北部小、伊平幼、引佐北部みさと幼 三ヶ日:三ヶ日東小	浜北:麓玉小、宮口幼 春野:全小・中学校、気田幼 水窪:水窪小、水窪中
・運行形態	業務委託	
・運行車両	市車両、リース車両	

・事業の成果と課題

指標の達成度

対象地域の小・中学校及び幼稚園において、適切な運行を行った。

・事業の見直し

実施結果  
大項目  小項目  /  事業費  人工

・対象地域の、15小学校、4中学校及び8幼稚園において、適切な運行を行った。  
・対象地域の精査を行い、要綱を改正し熊小学校区内の地域の追加を図った。

今後の方向性  
大項目  小項目  /  事業費  人工

・各路線のルートを検証し、適宜、見直しを行っていく。

**事業シート** (事業名) 中山間地域校外学習支援事業 **【完了】**

◇事業目的・事業対象

中山間地域に所在する市立小・中学校及び幼稚園で教育活動の一環として実施される校外学習について、移動手段の確保及びその経費にかかる保護者負担の軽減を図るため、活動に対する移動経費の一部を支援するもの。

◇事業の概要

平成30年度から、「通園・通学バス運行事業」に統合

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H26	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	4,000	3,200	2,786	
	決算	1,608	2,041	2,582	
	国・県支出				
	市債				
	その他			1,100	
	一般財源	1,608	2,041	1,482	
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		2,800	2,100	3,500	
人工	正規	0.4	0.3	0.5	
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
対象校での校外学習支援率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100			100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・対象校	天竜:二俣小、光明小、鏡山小、上阿多古小、下阿多古小、熊小、横山小 清竜中、光が丘中 春野:犬居小、気田小、春野中 佐久間:佐久間小、浦川小、城西小、佐久間中 水窪:水窪小、水窪中 引佐:引佐北部小中
・運行形態	通学バス運行管理業務委託業者との業務委託
・運行車両	通学バス等を使用

・事業の成果と課題

指標の達成度

支援対象となる小・中学校において、適切な運行を行った。

・事業の見直し

実施結果  
大項目  小項目  /  事業費  人工

・「通園・通学バス運行事業」に統合し、事務の効率化を図った。

今後の方向性  
大項目  小項目  /  事業費  人工



# 事業シート (事業名) 教育施設等管理事業

## ◇事業目的・事業対象

教育委員会事務局の所在する施設の適正な維持管理や学校等の関係施設間との文書運搬業務等を通じて、職員の円滑な事務処理及び来庁者に対する利便向上を図る。  
 また、小・中学校における不測の事故等による損害賠償請求に関して、市の財政的損失を最小限に抑えるため、損害賠償保険に加入する。

## ◇事業の概要

1 イーステージ浜松オフィス管理事業  
 事務局の入居するイーステージ浜松オフィス棟5・6・7階に関する警備・清掃業務等の委託及び空調管理業務の実施。施設修繕の随時実施。公用車管理のための併設駐車場の借り上げ、来庁者に対する駐車料金の補助。  
 2 学校管理者賠償責任保険料  
 市が管理する学校施設の構造上の欠陥や管理上の不備、学校業務遂行上の不注意が原因となる事故等で、児童・生徒又は第三者が身体上の障害(死亡を含む)又は財産の破壊を被ったことにより、市が法律上の賠償責任を負う場合の賠償金を補填するための保険加入。  
 ① 保険の種類 全国市長会学校災害賠償補償保険  
 ② 契約内容 ・身体賠償 1人につき1億5千万円上限 1事故につき15億円上限 ・財物賠償 1事故につき2千万円上限  
 3 教育施設連絡調整事業  
 事務局と幼・小・中学校等の施設間の文書運搬業務を委託にて実施。連絡調整に使用する公用車の維持管理。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H12	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	37,197	38,124	40,013	44,599
	決算	35,990	38,873	39,245	
	国・県支出				
	市債				
	その他	38	39	39	48
	一般財源	35,952	38,834	39,206	44,551
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		15,080	14,680	16,080	14,360
人工	正規	0.9	0.9	1.1	0.9
	再任用(h31)				
	再任用(h26)	0.9	2.9	2.9	3.1
	非常勤	2.3	0.3	0.3	

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市の賠償金に係る保険による補償割合(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100	100	100
実績値	90	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

1 イーステージ浜松オフィス管理事業

事務局の入居するイーステージ浜松オフィス棟5・6・7階に関する警備・清掃業務等の委託及び空調管理業務の実施。施設修繕の随時実施。公用車管理のための併設駐車場の借り上げ、来庁者に対する駐車料金の補助。

2 学校管理者賠償責任保険料

市が管理する学校施設の構造上の欠陥や管理上の不備、学校業務遂行上の不注意が原因となる事故等で、児童・生徒又は第三者が身体上の障害(死亡を含む)又は財産の破壊を被ったことにより、市が法律上の賠償責任を負う場合の賠償金を補填するための保険加入。

① 保険の種類 全国市長会学校災害賠償補償保険

② 契約内容 ・身体賠償 1人につき1億5千万円上限 1事故につき15億円上限 ・財物賠償 1事故につき2千万円上限

3 教育施設連絡調整事業

事務局と幼・小・中学校等の施設間の文書運搬業務を委託にて実施。連絡調整に使用する公用車の維持管理。

・事業の成果と課題

指標の達成度

教育委員会事務局及び小中学校の事務事業の基礎的部分である、施設管理・公用車管理及び文書運搬業務を支障なく実施することができた。

学校管理者賠償責任保険の適用において、保険金対象事案については、保険金額の範囲内で賠償金の支払を執行することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

本事業の性格上、基礎的・義務的事業として、必要な事業費・人工を確保していく必要がある。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

本事業の性格上、基礎的・義務的事業として、必要な事業費・人工を確保していく必要がある。

# 事業シート (事業名) 教育総務運営経費

## ◇事業目的・事業対象

教育委員会運營業務及び児童・生徒の学籍関係事務等を通じて、教育委員及び事務局職員の円滑な事務処理及び市立学校に在籍する子供の適正な学籍処理を図る。

## ◇事業の概要

- 1 教育委員会の運営
  - ・教育委員会会議の開催  
定例会、臨時会(移動教育委員会を含む)
  - ・教育委員の活動支援  
教育委員会会議や総合教育会議の出席、学校等施設への訪問、各種会議及び研修会への出席等
- 2 児童・生徒の学籍管理
  - ・児童・生徒の就学に関する業務
  - ・小・中学校の通学区域に関する業務
  - ・教科書の無償給与業務
  - ・小学校入学祝い品の贈呈業務(※中学校卒業記念品はH30年度より廃止)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S27	—	一般会計	自治事務(法令義務)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学校教育法	—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	20,020	21,703	27,019	20,504
	決算	23,456	19,882	24,382	
	国・県支出				
	市債				
	その他	4,975	396	500	1,001
	一般財源	18,481	19,486	23,882	19,503
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)		5,593	5,222	5,068	6,090
人件費 (千円)		82,580	82,580	83,780	88,860
人工	正規	9.8	9.8	10.0	10.6
	再任用(h31)				
	再任用(h26)	0.1	0.1	1.1	0.9
	非常勤	4.9	4.9	3.9	4.4

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
教育委員の活動回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	60	60	60	60		60
実績値	91	62	54			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- |  |
|--|
| <p>1教育委員会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議の開催<br/>定例会、臨時会(移動教育委員会を含む)</li> <li>・教育委員の活動支援<br/>教育委員会会議や総合教育会議の出席、学校等施設への訪問、各種会議及び研修会への出席等</li> </ul> <p>2児童・生徒の学籍管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の就学に関する業務</li> <li>・小・中学校の通学区域に関する業務</li> <li>・教科書の無償給与業務</li> <li>・小学校入学祝い品及び中学校卒業記念品の贈呈業務</li> </ul> |
|--|

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <p>1教育委員会の運営</p> <p>合議体の執行機関である教育委員会の意思決定の場となる、定例会議を毎月開催し、適切な事務執行を行うことができた。また、教職員や市民との意見交換や最新の事業進行等の情報提供の機会を設け、非常勤の教育委員の意思決定に資することができた。</p> <p>2児童・生徒の学籍管理</p> <p>日々の子供の異動に対応して、適正な学籍管理や教科書給与を行うことができた。また、対象者を正確に把握し、小学校入学祝い品及び中学校卒業記念品の確実な贈呈をすることができた。</p>
--

・事業の見直し

<p>実施結果</p> <p>大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text" value="拡大"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>本事業の性格上、基礎的・義務的事業として、必要な事業費・人工を確保していく必要がある。</p>
<p>今後の方向性</p> <p>大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text" value="縮小"/> 人工 <input type="text" value="拡大"/></p> <p>本事業の性格上、基礎的・義務的事業として、必要な事業費・人工を確保していく必要がある。</p>

# 政策シート (政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり

(予算費目名) 小学校教育総務費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

## ◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

### ◇政策の概要

保護者の経済的負担を軽減し、すべての子供が安心して就学し、学び続けることができる教育環境を整備する。

- 発達支援教育推進事業
- 就学援助事業
- 遠距離通学費援助事業

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	199,454	209,586	235,545	245,709
決算	194,822	205,815	234,020	
人件費(A)	8,820	8,820	10,500	10,080
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	203,642	214,635	244,520	255,789

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
要支援者に対する支給率	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

### ◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

保護者の経済的負担を軽減し、すべての子供が安心して就学し、学び続けることができる教育環境を整備する。

- 発達支援教育推進事業
- 就学援助事業
- 通学支援事業
  - 遠距離通学費援助事業

### ◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 支援を要する世帯に対し、制度に基づいた支給を行った。
- 就学援助事業について、新入学学用品費の増額を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	発達支援教育推進事業					28,893	25,393	0.5				
2	就学援助事業	○	○			221,504	216,324	0.7			0.1	
3	遠距離通学費援助事業					5,392	3,992	0.2				
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						255,789	245,709	1.4			0.1	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 発達支援教育推進事業

## ◇事業目的・事業対象

発達支援学級等に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減し、発達支援学級への就学を支援する。

## ◇事業の概要

### 発達教育就学奨励費

対象者: 小学校の発達支援学級等に就学する児童の保護者

支給基準: 保護者の負担能力の程度

対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学児童学用品費、拡大教材費、交流学习交通費、修学旅行費、校外活動費、通学費、学校給食費

支給科目: 扶助費

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	—	一般会計	自治事務(法令義務)	教育基本法	—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	20,889	20,745	24,338	25,393
	決算	18,228	19,723	24,322	
	国・県支出	9,114	9,862	12,161	12,696
	市債				
	その他				
	一般財源	9,114	9,861	12,161	12,697
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		2,660	2,660	2,660	3,500
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.5
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	0.2	0.2	0.2	

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
要支援者に対する支給率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

発達教育就学奨励費

対象者: 小学校の発達支援学級等に就学する児童の保護者

支給基準: 保護者の負担能力の程度

対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学児童学用品費、拡大教材費、交流学习交通費、修学旅行費、校外活動費、通学費、学校給食費

支給科目: 扶助費

・事業の成果と課題

指標の達成度

発達支援学級等に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減し、発達支援学級への就学を支援した。

援助を必要とする子どもの生活実態を把握し、申請漏れがないよう適切な援助を行うため、常に学校と円滑な連携を図る必要がある。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

制度に基づき適正な扶助費の支給を行うため、従来通り、学校と連携し実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

制度に基づき適正な扶助費の支給を行う。制度改正等には的確迅速に対応し、支給要綱を見直すとともに関連する報告書等の様式の見直しを必要に応じて実施する。



# 事業シート (事業名) 就学援助事業

## ◇事業目的・事業対象

経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者の負担を軽減し、小学校への就学を支援する。

## ◇事業の概要

就学援助費  
 対象者: 経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者  
 対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学児童学用品費、体育実技用具費、修学旅行費、校外活動費、通学費、学校給食費、医療費  
 支給科目: 扶助費

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S31	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校教育法	○	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	173,253	184,271	207,136	216,324
	決算	172,589	182,409	206,658	
	国・県支出	1,626	1,542	1,144	1,805
	市債				
	その他				
	一般財源	170,963	180,867	205,514	214,519
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		5,460	5,460	6,160	5,180
人工	正規	0.7	0.7	0.8	0.7
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	0.2	0.2	0.2	0.1

## ◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
要支援者に対する支給率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

就学援助費  
対象者: 経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者  
対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学児童学用品費、体育実技用具費、修学旅行費、校外活動費、通学費、学校給食費、医療費  
支給科目: 扶助費

・事業の成果と課題

指標の達成度  
  
経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者の負担を軽減し、小学校への就学を支援した。  
援助を必要とする子どもの生活実態を把握し、申請漏れがないよう適切な援助を行うため、常に学校と円滑な連携を図る必要がある。

・事業の見直し

実施結果  
大項目  小項目  /  事業費  人工   
新入学学用品費の増額を実施した。  
制度に基づき適正な扶助費の支給を行うため、従来通り、学校と連携し実施した。

今後の方向性  
大項目  小項目  /  事業費  人工   
対象者が増加傾向にあり、各学校が取り扱う件数も増加していることから、申請から認定、支給に至る事務手続き方法を随時見直し、事務の簡素化を進める。

# 事業シート (事業名) 遠距離通学費援助事業

## ◇事業目的・事業対象

学校統合等により通学距離が遠距離となり、多大な時間や経費を要する児童の保護者の経済的な負担を解消・軽減するため、通学に要する経費を支援する。

## ◇事業の概要

### 【遠距離通学費援助事業】

- ・対象者 学校統廃合等により通学距離が遠距離となる児童の保護者
- ・対象地域 天竜・春野・佐久間・水窪・龍山・三ヶ日の各地域
- ・対象経費 通学費

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S39	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	5,312	4,570	4,071	3,992
	決算	4,005	3,683	3,040	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	4,005	3,683	3,040	3,992
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	700	700	1,680	1,400
	正規	0.1	0.1	0.2	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤			0.1	

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
要支援者に対する支給率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【遠距離通学費援助事業】

- ・対象者 学校統廃合等により通学距離が遠距離となる児童の保護者
- ・対象地域 浜北・天竜・春野・佐久間・水窪・龍山・三ヶ日の各地域
- ・対象経費 通学費

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

対象地域小学校の該当児童に対して、適切な支給を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目  改善 小項目  条例・要綱等 /  事業費  縮小 人工  現状

- ・支援を要する世帯に対し、制度に基づいた支給を行った。
- ・対象地域小学校の該当児童に対して、適切な支給を行った。
- ・平成30年度に向けて支援対象地域の精査を行い、要綱改正を行った。  
支援対象地域の増:天竜区熊小学校区(対象地域の精査による)

今後の方向性

大項目  改善 小項目  条例・要綱等 /  事業費  縮小 人工  現状

対象地域小学校の該当児童を把握し、適切な支給を行っていく。

# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり

(予算費目名) 中学校教育総務費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

保護者の経済的負担を軽減し、すべての子供が安心して就学し、学び続けることができる教育環境を整備する。

- 発達支援教育推進事業
- 就学援助事業
- 遠距離通学費援助事業

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	206,984	211,276	276,803	244,860
決算	196,104	206,941	268,652	
人件費(A)	8,260	8,260	8,960	9,380
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	204,364	215,201	277,612	254,240

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
要支援者に対する支給率	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

保護者の経済的負担を軽減し、すべての子供が安心して就学し、学び続けることができる教育環境を整備する。

- 発達支援教育推進事業
- 就学援助事業
- 通学支援事業
  - 遠距離通学費援助事業

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 支援を要する世帯に対し、制度に基づいた支給を行った。
- 就学援助事業について、新入学学用品費の増額を行うとともに、平成30年度新中学1年生に対して、支給要領を改正し入学前支給を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	発達支援教育推進事業					21,697	18,197	0.5			
2	就学援助事業	○	○			225,707	221,227	0.6			0.1
3	遠距離通学費援助事業					6,836	5,436	0.2			
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						254,240	244,860	1.3			0.1

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 発達支援教育推進事業

## ◇事業目的・事業対象

発達支援学級等に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減し、発達支援学級への就学を支援する。

## ◇事業の概要

### 発達教育就学奨励費

対象者: 中学校の発達支援学級等に就学する生徒の保護者

支給基準: 保護者の負担能力の程度

対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学生徒学用品費、拡大教材費、交流学习交通費、修学旅行費、校外活動費、職場実習交通費、通学費、学校給食費、体育実技用具費

支給科目: 扶助費

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S62	—	一般会計	自治事務(法令義務)	教育基本法	—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	19,942	15,963	22,874	18,197
	決算	14,405	15,443	18,380	
	国・県支出	7,202	7,721	9,190	9,098
	市債				
	その他				
	一般財源	7,203	7,722	9,190	9,099
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		2,380	2,380	2,380	3,500
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.5
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	0.1	0.1	0.1	

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
要支援者に対する支給率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

発達教育就学奨励費

対象者: 中学校の発達支援学級等に就学する生徒の保護者

支給基準: 保護者の負担能力の程度

対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学生徒学用品費、拡大教材費、交流学习交通費、修学旅行費、校外活動費、職場実習交通費、通学費、学校給食費、体育実技用具費

支給科目: 扶助費

・事業の成果と課題

指標の達成度

発達支援学級等に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減し、発達支援学級への就学を支援した。

援助を必要とする子どもの生活実態を把握し、申請漏れがないよう適切な援助を行うため、常に学校と円滑な連携を図る必要がある。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

制度に基づき適正な扶助費の支給を行うため、従来通り、学校と連携し実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

制度に基づき適正な扶助費の支給を行う。制度改正等には的確迅速に対応し、支給要綱を見直すとともに関連する報告書等の様式の見直しを必要に応じて実施する。



# 事業シート (事業名) 就学援助事業

## ◇事業目的・事業対象

経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者の負担を軽減し、中学校への就学を支援する。

## ◇事業の概要

就学援助費  
 対象者: 経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者  
 対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学生徒学用品費、体育実技用具費、修学旅行費、校外活動費、職場実習交通費、通学費、学校給食費、医療費  
 支給科目: 扶助費

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S31	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校教育法	○	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	176,287	187,418	247,546	221,227
	決算	171,963	184,110	244,870	
	国・県支出	1,960	1,923	1,686	1,650
	市債				
	その他				
	一般財源	170,003	182,187	243,184	219,577
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		5,180	5,180	5,180	4,480
人工	正規	0.7	0.7	0.7	0.6
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	0.1	0.1	0.1	0.1

## ◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
要支援者に対する支給率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

就学援助費  
対象者: 経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者  
対象経費: 学用品購入費、通学用品購入費、新入学生徒学用品費、体育実技用具費、修学旅行費、校外活動費、職場実習交通費、通学費、学校給食費、医療費  
支給科目: 扶助費

・事業の成果と課題

指標の達成度  
  
経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者の負担を軽減し、中学校への就学を支援した。援助を必要とする子どもの生活実態を把握し、申請漏れがないよう適切な援助を行うため、常に学校と円滑な連携を図る必要がある。

・事業の見直し

実施結果  
大項目  小項目  /  事業費  人工   
制度に基づき適正な扶助費の支給を行うため、従来通り、学校と連携し実施した。  
新入学学用品費の増額を行うとともに、平成30年度新中学1年生に対して、支給要領を改正し入学前支給を実施した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工   
対象者が増加傾向にあり、各学校が取り扱う件数も増加していることから、申請から認定、支給に至る事務手続き方法を随時見直し、事務の簡素化を進める。

# 事業シート (事業名) 遠距離通学費援助事業

## ◇事業目的・事業対象

学校統廃合等により通学距離が遠距離となり、多大な時間や経費を要する生徒の保護者の経済的な負担を解消・軽減するため、通学に要する経費を支援するもの。

## ◇事業の概要

### 【遠距離通学費援助事業】

- ・対象者 学校統廃合等により通学距離が遠距離となる生徒の保護者
- ・対象地域 天竜・春野・佐久間・水窪・龍山・引佐の各地域
- ・対象経費 通学費

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S38	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	10,755	7,895	6,383	5,436
	決算	9,736	7,388	5,402	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	9,736	7,388	5,402	5,436
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	700	700	1,400	1,400
	正規	0.1	0.1	0.2	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
要支援者に対する支給率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【遠距離通学費援助事業】

- ・対象者 学校統廃合等により通学距離が遠距離となる生徒の保護者
- ・対象地域 天竜・春野・佐久間・水窪・龍山・引佐の各地域
- ・対象経費 通学費

・事業の成果と課題

指標の達成度

対象地域中学校の該当生徒に対して、適切な支給を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

対象地域中学校の該当生徒に対して、適切な支給を行った。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

対象地域中学校の該当生徒を把握し、適切な支給を行っていく。

# 政策シート (政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり

(予算費目名) 育英事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

## ◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

### ◇政策の概要

奨学金の貸与  
教育の機会均等を図り、将来社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	89,500	98,000	94,000	93,000
決算	87,969	96,372	92,725	
人件費(A)	5,600	5,600	5,600	3,780
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	93,569	101,972	98,325	96,780

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
貸与適格者への支給率	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

### ◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

奨学金の貸与  
教育の機会均等を図り、将来社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

### ◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

適格者に奨学金を貸与し、将来社会に貢献し得る有能な人材の育成を図るとともに、償還金を受け入れ、基金を管理した。社会情勢の変化に伴う奨学金のあり方の検討が課題である。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	育英事業					96,780	93,000	0.5			0.1
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						96,780	93,000	0.5			0.1

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 育英事業

## ◇事業目的・事業対象

経済的な理由のために修学困難である成績優秀な大学生等に対して、教育の機会均等を図り、将来社会に貢献し得る有能な人材を育成するため、奨学金を貸与する。

## ◇事業の概要

1 市内に住所を有する者の子で、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校に進学する希望者のうちから、奨学生を決定し奨学金を貸与する。

- ①貸与月額 45,000円以内
- ②新規貸与人数 50人以内
- ③貸与期間 奨学生が在学する学校の正規の修業期間
- ④償還方法 貸与終了後、貸与期間の2倍に相当する期間内に、年賦又は半年賦で償還。

2 佐久間・水窪・龍山地区に住所を有する者の子で、下宿等の自宅外から高等学校に通学する希望者のうちから、奨学生を決定し奨学金を貸与する。

- ①貸与月額 30,000円以内
- ②新規貸与人数 3人程度
- ③貸与期間 奨学生が在学する学校の正規の修業期間
- ④償還方法 貸与期間の2倍に相当する期間内に、年賦又は半年賦で償還(口座振替又は金融機関窓口)。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S40	—	特別会計	自治事務(その他)	浜松市奨学金貸与条例・同施行規則	—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	89,500	98,000	94,000	93,000
	決算	87,969	96,372	92,725	
	国・県支出				
	市債				
	その他	249	5,350	2,330	18,346
	一般財源	87,720	91,022	90,395	74,654
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		5,600	5,600	5,600	3,780
人工	正規	0.8	0.8	0.8	0.5
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				0.1

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
貸与適格者への支給率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- 1 市内に住所を有する者の子で、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校に進学する希望者のうちから、奨学生を決定し奨学金を貸与
- ①貸与月額 45,000円以内
  - ②新規貸与人数 50人以内
  - ③貸与期間 奨学生が在学する学校の正規の修業期間
  - ④償還方法 貸与終了後、貸与期間の2倍に相当する期間内に、年賦又は半年賦で償還。
- 2 佐久間・水窪・龍山地区に住所を有する者の子で、下宿等の自宅外から高等学校に通学する希望者のうちから、奨学生を決定し奨学金を貸与
- ①貸与月額 30,000円以内
  - ②新規貸与人数 3人程度
  - ③貸与期間 奨学生が在学する学校の正規の修業期間
  - ④償還方法 貸与終了後、貸与期間の2倍に相当する期間内に、年賦又は半年賦で償還。

・事業の成果と課題

- 指標の達成度
- 
- ・経済的な理由のために修学困難である成績優秀な大学生等に対して、教育の機会均等を図り、将来社会に貢献し得る有能な人材を育成するため、奨学金を貸与した。
  - ・制度をPRするポスターを作成し、金融機関、塾、学校等に掲示した。
  - ・他の機関が実施する奨学金制度の利用者が増加する中、制度の見直しが求められている。

・事業の見直し

- 実施結果
- 大項目  小項目  /  事業費  人工
- デザイナーに委託し、PRポスターを作成した。  
金融機関や学校へのポスターの掲示・配架を行った。  
償還方法について、利用者の利便性を考慮し、平成30年度から口座振替により手法を導入するため、調整を行った。
- 今後の方向性
- 大項目  小項目  /  事業費  人工
- 国・県等による奨学金制度のあり方の見直しを注視し、市が行う奨学金制度の改善につなげていく。



# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり  
(予算費目名) 教育施設費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

天竜区における教職員住宅の維持管理や、浜松市学校教育振興基金の管理を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	33,249	205,670	79,904	10,292
決算	30,516	202,439	72,728	
人件費(A)	7,260	7,260	8,660	9,460
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	37,776	209,699	81,388	19,752

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
財産を有効利用するための教職員住宅への入居率(入居者数/部屋数)	%	75	目標	57	57	60	60
			実績	57	58	64	
教育水準の向上を維持するための教職員住宅への入居率(入居者数/入居希望者)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

天竜区における教職員住宅の維持管理や、浜松市学校教育振興基金の管理を行う。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 進んでいる

- 時間の経過とともに進む建物の老朽化により、多くの教職員住宅が改修を必要としているため費用がかかることが見込まれるが、同時に不用となる施設の他の用途への活用と、使用見込みのない老朽化した建物の解体を進める。
- 教育振興基金の適切な運用

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	教職員住宅管理事業					7,474	5,714	0.2	0.1			
2	放課後児童会施設整備事業				○							
3	学校教育振興基金積立金					1,732	1,032	0.1				
4	教育施設運営経費					10,546	3,546	1.0				
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						19,752	10,292	1.3	0.1			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 教職員住宅管理事業

### ◇事業目的・事業対象

天竜区における教職員住宅の維持管理経費。  
アパートなどの民間賃貸住宅のないへき地等の学校に勤務する教職員に住宅を確保する。

### ◇事業の概要

教職員住宅(天竜1施設・春野2施設・佐久間3施設・水窪3施設・龍山1施設)の施設を維持管理する。  
入退去の管理及び貸付料の徴収を行う。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S38	-	一般会計	自治事務(法令義務)	浜松市教職員住宅管理規則	-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	25,356	18,620	5,478	5,714
	決算	24,258	18,409	5,011	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	24,258	18,409	5,011	5,714
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		1,660	1,660	1,660	1,760
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2
	再任用(h31)				0.1
	再任用(h26)	0.1	0.1	0.1	
	非常勤				

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)		総合戦略施策体系				重点戦略項目No
財産を有効利用するための教職員住宅への入居率(入居者数/部屋数)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	57	57	60	60		75
実績値	57	58	64			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)		総合戦略施策体系				重点戦略項目No
教育水準の向上を維持するための教職員住宅への入居率(入居者数/入居希望者数)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)		総合戦略施策体系				重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)		総合戦略施策体系				重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

教職員住宅(天竜1施設・春野2施設・佐久間3施設・水窪3施設・龍山1施設)の施設を維持管理する。  
入退去の管理及び貸付料の徴収を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

引き続き、必要性等を精査し、効率的且つ効果的な整備を進めていく。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

引き続き、必要性等を精査し、効率的且つ効果的な整備を進めていく。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

時間の経過とともに進む建物の老朽化により、多くの教職員住宅が改修を必要としているため費用がかかることが見込まれるが、同時に不用となる施設の他の用途への活用と、使用見込みのない老朽化した建物の解体を進める。

**事業シート** (事業名) 放課後児童会施設整備事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

小学校敷地等を活用した放課後児童クラブ室の整備を行い、待機児童の解消や児童の安全確保を達成する。

◇事業の概要

学校敷地等を活用した放課後児童会建設、放課後児童会施設の賃貸借業務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S29	-	一般会計	自治事務(法令義務)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算			69,759	
	決算			64,926	
	国・県支出			34,284	
	市債				
	その他			35,000	
	一般財源			-4,358	
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)				1,400	
人工	正規			0.2	
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
放課後児童会建設の完成						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			100			
実績値			100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

中部中学校区小中一貫校整備事業(鹿谷グラウンド・放課後児童会整備建築、電気設備、機械設備工事)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

浜松中部学園放課後児童会完成

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  -  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  現状  小項目  -  /  -  事業費  現状  人工  現状

放課後児童会建設については、待機児童数等の現状を把握し、問題点や必要性を検討し整備を計画的に進めていく必要がある。

平成30年度より、教育総務課に業務移管される。

# 事業シート (事業名) 学校教育振興基金積立金

## ◇事業目的・事業対象

学校教育振興基金に対する寄附金、基金運用収入及び国庫納付金相当額の積立金

## ◇事業の概要

学校教育振興基金に対する寄附金、基金運用収入及び国庫納付金相当額を積み立てるもの。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S49	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,129	1,065	1,041	1,032
	決算	128	65	40	
	国・県支出				
	市債				
	その他	128	65	27	1,032
	一般財源			13	
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

学校教育振興基金に対する寄附金、基金運用収入及び国庫納付金相当額を積み立てるもの。

・事業の成果と課題

指標の達成度

教育振興基金の適切な運用。  
基金運用利子を積み立てた。  
旧川名小学校国庫納付金相当額13,346円を積み立てた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

基金運用収入

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

寄付金を基金に積み立てるもの。  
基金の運用について、学校環境の改善に効果的な運用方法を検討する。



# 事業シート (事業名) 教育施設運営経費

## ◇事業目的・事業対象

教育施設課運営に係る旅費、消耗品等の必要な経費を確保し、教育施設環境の向上を図る。

## ◇事業の概要

学校施設課運営経費

- 旅費 (管内旅費、管外旅費)
- 需用費 (消耗品、燃料費、新聞図書費、修・自動車)
- 役務費 (郵便料)
- 委託料 (二俣学校林管理業務、省エネ法改正に伴うエネルギー管理支援業務)
- 使用料及び賃借料 (会場借上、その他使用)
- 負担金 (静岡県公立学校施設整備期成会負担金、全国施設主管課長協議会分担金、全国公立学校建築技術協議会会費、特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料、冷凍及び空調施設に係る保安講習会受講料)、省エネ法管理講習負担金)

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	6,764	185,985	3,626	3,546
	決算	6,130	183,965	2,751	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	6,130	183,965	2,751	3,546
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	4,900	4,900	4,900	7,000
	正規	0.7	0.7	0.7	1.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

学校施設課運営経費

- 旅費 (管内旅費、管外旅費)
- 需用費 (消耗品、新聞図書費、印刷製本費)
- 役務費 (郵便料)
- 委託料 (省エネ法改正に伴うエネルギー管理支援業務)
- 使用料及び賃借料 (会場借上、その他使用)
- 負担金 (静岡県公立学校施設整備期成会負担金、全国施設主管課長協議会分担金、全国公立学校建築技術協議会会費、特別管理産業廃棄物管理責任者講習会受講料、冷凍及び空調施設に係る保安講習会受講料、省エネ法管理講習負担金)

・事業の成果と課題

指標の達成度

教育施設運営業務に係る一般事務に要する経費を執行した。  
教育施設課の運営を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

教育施設運営及び教育施設課の一般事務に要する経費を執行した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

教育施設課の運営経費として、今後も現状程度の事業規模が必要である。  
今後も経費削減に努め効率的な運営を行い、より良い教育環境の提供を目指す。

# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり

(予算費目名) 小学校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

## ◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

### ◇政策の概要

市内の小学校を適正に管理・運営し、児童が安心して学べる環境づくりを図ため、光熱水費等の管理用経費の確保や施設の保守点検及び維持管理を進める。

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	1,337,940	1,309,803	1,337,890	1,318,103
決算	1,290,750	1,274,896	1,296,436	
人件費(A)	19,180	21,980	21,980	29,780
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,309,930	1,296,876	1,318,416	1,347,883

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
小学校運営用経費の確保(達成率)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
小学校施設の保守点検及び維持管理(年間実施率)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				

### ◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

市内の小学校を適正に管理・運営し、児童が安心して学べる環境づくりを図ため、光熱水費等の管理用経費の確保や施設の保守点検及び維持管理を進める。

### ◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- 小学校96校の運営に必要な光熱水費、管理用消耗品、印刷製本費、修繕費、植木剪定料、事務機器借上料、備品購入などを執行した。
- 設備保守点検等の業務委託執行

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	小学校運営事業					1,060,295	1,038,595	2.3			2.0
2	小学校管理事業					287,588	279,508	1.0	0.3		
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,347,883	1,318,103	3.3	0.3		2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 小学校運営事業

## ◇事業目的・事業対象

市内の小学校を適正に管理・運営し、児童が安心して学べる環境づくりを図る。

## ◇事業の概要

学校管理運営上において必要な光熱水費、管理用経費等の経費を確保し、充実した学校運営を図る。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	—	一般会計			—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,083,796	1,049,164	1,059,670	1,038,595
	決算	1,038,584	1,016,325	1,024,281	
	国・県支出	7,818	9,114	9,654	8,388
	市債				
	その他	1,374	1,266	979	902
一般財源		1,029,392	1,005,945	1,013,648	1,029,305
一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		14,000	15,400	15,400	21,700
人工	正規	1.6	1.8	1.8	2.3
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	1.0	1.0	1.0	2.0

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
光熱水の使用量前年比3%削減を達成した学校の割合【資源を大切に作る運動】						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	50	10	36			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

学校管理運営上において必要な光熱水費、管理用経費等の経費を確保し、充実した学校運営を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

電気使用量は前年度比減となったが、水道使用量は前年度比増となった。日々の学校生活の中で主体的に節電・節水に取り組んでいくことに努めていく。

小学校96校の管理運営のため、光熱水費等に要する経費を執行した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

小学校96校の運営に必要な光熱水費、管理用消耗品、印刷製本費、修繕費、植木剪定料、事務機器借上料、備品購入などを執行した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

学校管理用経費や施設老朽化対策のための危機的修繕の充実など、児童が安全で安心して学べる学校環境づくりを目指す。

# 事業シート (事業名) 小学校管理事業

## ◇事業目的・事業対象

児童が夢と希望をもって学び続ける環境づくりのための学校管理事業

## ◇事業の概要

学校管理委託事業  
 ・市立小学校施設の保守点検及び維持管理を行う。  
 学校用地借上事業  
 ・小学校用地の賃借  
 ・借地のある学校 22校  
 ・借上げ面積 54,378.44㎡

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	254,144	260,639	278,220	279,508
	決算	252,166	258,571	272,155	
	国・県支出				
	市債				
	その他	310	313	324	
	一般財源	251,856	258,258	271,831	279,508
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		5,180	6,580	6,580	8,080
人工	正規	0.6	0.8	0.8	1.0
	再任用(h31)	0.2	0.2	0.2	0.3
	再任用(h26)	0.1	0.1	0.1	
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
法令保守点検(年間実施率)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

<p>学校管理委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立小学校施設の保守点検及び維持管理を行う。</li> </ul> <p>学校用地借上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校用地の賃借</li> <li>・借地のある学校 23校</li> <li>・借上げ面積 54,516.34㎡</li> </ul> <p>余裕教室開放事業(平成29年度で事業廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き教室の市民への開放</li> <li>・事業を円滑に実施するために施設利用委員会に対し、開放にかかる手続きを委託</li> </ul>
---

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <p>小学校施設の管理運営を引き続き行う。</p> <p>学校用地の借地について、1校(地権者1名)の借地解消を達成した。</p>
--

・事業の見直し

<p>実施結果</p> <p>大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="—"/> / <input type="text" value="—"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>小学校施設の管理運営を引き続き行う。</p>
<p>今後の方向性</p> <p>大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="—"/> / <input type="text" value="—"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>小学校施設の管理運営を引き続き行う。</p> <p>保守点検・維持管理について、さらに入札方法等の改善を図る。</p> <p>学校用地の借地解消を進めていく。(アセットマネジメント推進課)</p>



# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり  
(予算費目名) 小学校建設費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。</li> <li>すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。</li> </ul>

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

子どもたちが安心して学べる環境整備を整えるため、市内の小学校施設について改修事業・改築事業整備を進める。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	3,702,419	4,949,526	1,491,063	1,207,180
決算	2,917,850	5,466,986	1,635,165	
人件費(A)	47,080	49,880	53,380	65,680
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,964,930	5,516,866	1,688,545	1,272,860

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
事業計画に沿った改修及び改築(進捗率)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	67	100	
			目標				
			実績				
			目標				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

子どもたちが安心して学べる環境整備を整えるため、市内の小学校施設について改修事業・改築事業整備を進める。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 遅れている

平成28年度の整備については、文科省の国庫補助において当初予算不足もあり、2事業が国庫の補正予算対応となったため繰越事業となった。

時間の経過とともに進む建物の老朽化により、多くの校舎が改築・大規模模改造工事・修繕工事等の改修を必要としているため多額の費用がかかることが見込まれる中で、限りある財源において将来的な財政負担の平準化を図りつつ計画を進めることが課題。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	小学校建設事業			○		650,661	614,821	4.6			1.3	
2	規模適正化校舎建設・施設整備事業			○○								
3	学校施設整備事業					622,199	592,359	3.8	0.9			
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,272,860	1,207,180	8.4	0.9		1.3	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 小学校建設事業

## ◇事業目的・事業対象

子どもたちが安全で安心して学べる教育環境を整えるため、小学校の施設について改修事業・改築事業などの整備を進めます。

## ◇事業の概要

船越小学校改築工事、旧元城小学校校舎等解体工事、可美小学校改築工事実施設計、神久呂小学校校舎改築工事基本設計

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30	—	一般会計	自治事務(法令義務)	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等の関する法律	—	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	2,015,808	1,058,821	113,117	614,821
	決算	1,739,893	1,160,635	298,506	
	国・県支出	449,442	191,606	8,274	40,964
	市債	1,185,100	879,100	199,200	195,400
	その他			53,000	293,000
	一般財源	105,351	89,929	38,032	85,457
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		19,740	19,740	21,840	35,840
人工	正規	2.5	2.5	2.8	4.6
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	0.8	0.8	0.8	1.3

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
増改築・大規模改造工事(校数)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2	5	2	1		34
実績値	2	3	2			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

船越小学校改築工事実施設計、旧元城小学校校舎等解体工事実施設計、可美小学校改築工事基本設計  
[決算額298,506千円(うち前年度繰越188,472千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

文科省国庫補助が当初予算不足により補正対応となっている。今後は国予算状況を鑑み、必要に応じて計画の見直しを行って対応するが、建物の老朽化が課題となる状況でもあることから、着実に進むよう財源の確保に努める。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

- ・当初の計画どおり事業完了できた。
- ・次年度の事業費については、普通教室空調設置事業の影響もあり、改築・改修の一部事業の財源確保ができなかった。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 改修・更新 / - 事業費 拡大 人工 現状

- ・昭和40年～50年に集中して建設された学校において、時間の経過とともに進む建物の老朽化により多くの棟数が同時期に改築・大規模模改造工事等の改修を要すると予想されるため多額の費用がかかるが見込まれる。
- ・平成32年度までに策定される長寿命化計画(個別施設計画)に基づき、計画的に進めていく必要がある。

**事業シート** (事業名) 規模適正化校舎建設・施設整備事業 **【完了】**

◇事業目的・事業対象

学校の統廃合に伴う施設整備を進めます。

◇事業の概要

中部中学校区小中一貫校整備工事

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	H29	一般会計	自治事務(法令義務)	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等の関する法律	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,148,511	3,294,953	530,161	
	決算	650,513	3,765,448	505,178	
	国・県支出	90,443	773,613		
	市債	513,400	2,647,000	439,700	
	その他			34,000	
	一般財源 一般会計繰入金	46,670	344,835	31,478	
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		14,280	14,280	15,680	
人工	正規	1.8	1.8	2.0	
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	0.6	0.6	0.6	

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
小中一貫校整備工事(校数)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値			1			
実績値			1			
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
-----						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

中部中学校区小中一貫校整備工事  
[決算額505,178千円]

・事業の成果と課題

指標の達成度

29年度完成

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり

(予算費目名) 中学校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

## ◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

### ◇政策の概要

市内の中学校を適正に管理・運営し、児童が安心して学べる環境づくりを図ため、光熱水費等の管理用経費の確保や施設の保守点検及び維持管理を進める。

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	794,103	776,369	807,508	802,143
決算	776,336	752,194	776,762	
人件費(A)	15,320	17,420	17,420	15,420
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	791,656	769,614	794,182	817,563

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
中学校運営用経費の確保(達成率)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
中学校施設の保守点検及び維持管理(年間実施率)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				

### ◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

市内の中学校を適正に管理・運営し、児童が安心して学べる環境づくりを図ため、光熱水費等の管理用経費の確保や施設の保守点検及び維持管理を進める。

### ◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・中学校49校の運営に必要な光熱水費、管理用消耗品、印刷製本費、修繕費、植木剪定料、事務機器借上料、備品購入などを執行した。
- ・設備保守点検等の業務委託執行

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	中学校運営事業					650,272	639,072	1.2			1.0
2	中学校管理事業					167,291	163,071	0.5	0.2		
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						817,563	802,143	1.7	0.2		1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800



## 事業シート (事業名) 中学校運営事業

### ◇事業目的・事業対象

市内の中学校を適正に管理・運営し、生徒が安心して学べる環境づくりを図る。

### ◇事業の概要

学校管理運営上において必要な光熱水費、管理用経費等の経費を確保し、充実した学校運営を図る。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	651,447	631,604	649,094	639,072
	決算	635,482	608,512	620,414	
	国・県支出	5,495	9,522	10,554	6,966
	市債				
	その他	739	2,294	203	202
	一般財源	629,248	596,696	609,657	631,904
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		10,500	11,900	11,900	11,200
人工	正規	1.1	1.3	1.3	1.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
光熱水の使用量前年比3%削減を達成した学校の割合【資源を大切に作る運動】						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	50	27	56			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

学校管理運営上において必要な光熱水費、管理用経費等の経費を確保し、充実した学校運営を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

電気使用量は前年度比で減となったが、水道使用量は前年度比増となった。日々の学校生活の中で主体的に節電・節水に取り組んでいくことに努めていく。

中学校49校の管理運営のため、光熱水費等に要する経費を執行した。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

中学校49校の運営に必要な光熱水費、管理用消耗品、印刷製本費、修繕費、植木剪定料、事務機器借上料、備品購入などを執行した。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

学校管理用経費や施設老朽化対策のための危機的修繕の充実など、生徒が安全で安心して学べる学校環境づくりを目指す。

# 事業シート (事業名) 中学校管理事業

## ◇事業目的・事業対象

生徒が夢と希望を持って学び続ける環境づくりのための学校管理事業

## ◇事業の概要

学校管理委託事業  
 ・市立中学校施設の保守点検及び維持管理を行う。  
 学校用地借上事業  
 ・中学校用地の賃借  
 ・借地のある学校 5校  
 ・借上げ面積 32,056.65㎡

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	142,656	144,765	158,414	163,071
	決算	140,854	143,682	156,348	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	140,854	143,682	156,348	163,071
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		4,820	5,520	5,520	4,220
人工	正規	0.6	0.7	0.7	0.5
	再任用(h31)	0.1	0.1	0.1	0.2
	再任用(h26)	0.1	0.1	0.1	
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
法令保守点検(年間実施率)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

学校管理委託事業  
・市立中学校施設の保守点検及び維持管理を行う。

学校用地借上事業  
・中学校用地の賃借  
・借地のある学校 5校  
・借上げ面積 32,056.65㎡

・事業の成果と課題

指標の達成度

中学校施設の管理運営を引き続き行う。

・事業の見直し

実施結果  
大項目  小項目  /  事業費  人工

中学校施設の管理運営を引き続き行う。

今後の方向性  
大項目  小項目  /  事業費  人工

中学校施設の管理運営を引き続き行う。  
保守点検・維持管理について、さらに入札方法等の改善を図る。  
学校用地の借地解消を進めていく。(アセットマネジメント推進課)

**政策シート** (政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり  
(予算費目名) 中学校建設費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。</li> <li>すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。</li> </ul>

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつくり

◇政策の概要

子どもたちが安心して学べる環境整備を整えるため、市内の中学校施設について改修事業・改築事業整備を進める。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	2,581,366	5,734,780	1,828,655	484,051
決算	2,066,234	2,832,441	4,613,640	
人件費(A)	31,540	33,640	35,740	33,860
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,097,774	2,866,081	4,649,380	517,911

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
事業計画に沿った改修及び改築(進捗率)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

子どもたちが安心して学べる環境整備を整えるため、市内の中学校施設について改修事業・改築事業整備を進める。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<p>平成28年度の整備については計画どおり完了した。 時間の経過とともに進む建物の老朽化により、多くの校舎が改築・大規模模改造工事・修繕工事等の改修を必要としているため多額の費用がかかることが見込まれる中で、限りある財源において将来的な財政負担の平準化を図りつつ計画を進めることが課題。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	中学校建設事業			○		223,077	204,317	2.4			0.7
2	学校施設整備事業					294,834	279,734	1.9	0.5		
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						517,911	484,051	4.3	0.5		0.7

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 中学校建設事業

### ◇事業目的・事業対象

子どもたちが安全で安心して学べる教育環境を整えるため、中学校の施設について、改修事業・改築事業などの整備を進めます。

### ◇事業の概要

浜名中学校移転新設工事、蛸塚中学校校舎改築工事、江西中学校校舎改築工事、北浜中学校大規模改造工事实施設計

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30	—	一般会計	自治事務(法令義務)	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等の関する法律	—	—	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	2,307,806	5,492,460	1,441,024	204,317
	決算	1,811,238	2,574,908	4,231,793	
	国・県支出	136,293	392,575	735,933	
	市債	1,490,600	2,004,000	3,020,600	137,700
	その他	28,508		218,000	52,000
	一般財源 一般会計繰入金	155,837	178,333	257,260	14,617
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		19,180	19,180	21,280	18,760
人工	正規	2.5	2.5	2.8	2.4
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	0.6	0.6	0.6	0.7

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
改築・大規模改造工事(校数)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2	1	2	1		16
実績値	2	1	2			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

浜名中学校移転新設工事、蛸塚中学校校舎改築工事、江西中学校校舎改築工事、北浜中学校大規模改造工  
事実施設計[決算額4,231,793千円(うち前年度繰越3,576,339千円)]

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

計画どおり進んでいる。引き続き計画的に事業を進める。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

・当初の計画どおり事業完了できた。

・次年度の事業費については、普通教室空調設置事業の影響もあり、改築・改修の一部事業の財源確保ができなかった。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 改修・更新 / 事業費 拡大 人工 現状

・昭和40年～50年に集中して建設された学校において、時間の経過とともに進む建物の老朽化により多くの棟数が同時期に改築・大規模模改造工事等の改修を要すると予想されるため多額の費用がかかることが見込まれる。

・平成32年度までに策定される長寿命化計画(個別施設計画)に基づき、計画的に進めていく必要がある。



## 事業シート (事業名) 学校施設整備事業

### ◇事業目的・事業対象

市立中学校の建物、敷地等の維持・補修等を行うことによって、適正な財産管理と学校環境整備の充実を図るもの。  
破損・老朽化等によって劣化した施設設備を改修し、機能復旧を図る。また、生活様式や時代の変遷に沿ったより良好な教育環境を目指し、新たな機能を付加する工事を行う。

### ◇事業の概要

・緊急を要する箇所や施設管理上重要な箇所を重点的に改修・復旧し、施設の延命化を図る。  
・学校施設への新たな需要に対して、その必要性及び必要な数量を精査し、効率的で効果的な整備方法を検討・実施する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S22	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	273,560	242,320	387,631	279,734
	決算	254,996	257,533	381,847	
	国・県支出				
	市債				
	その他	200,346		268,000	140,000
	一般財源	54,650	257,533	113,847	139,734
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		12,360	14,460	14,460	15,100
人工	正規	1.5	1.8	1.8	1.9
	再任用(h31)	0.3	0.3	0.3	0.5
	再任用(h26)	0.3	0.3	0.3	
	非常勤				

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
学校からの補修要望に対する対応(達成率)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	50	50	52	52		60
実績値	50	49	50			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・緊急を要する箇所や施設管理上重要な箇所を重点的に改修・復旧し、施設の延命化を図る。  
 ・学校施設への新たな需要に対して、その必要性及び必要な数量を精査し、効率的で効果的な整備方法を検討・実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・焼却炉撤去工事・屋内運動場改修工事等を実施したことにより、災害時等における生徒の安全性の確保及び円滑な学校運営を図ることができるようになった。  
 ・壁掛扇風機設置工事・洋式トイレ設置工事等を実施し、生徒の教室環境等をより良い状況にしたことにより、学校生活に潤いを与えることができた。  
 引き続き、必要性等を精査し、効率的且つ効果的な整備を進めていく。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

給排水管工事・屋上防水工事・外壁補修工事など、施設の長寿命化に関する方針等に基づき改修を行っていく。また、生徒用トイレの洋式化、可動式黒板への取替、壁掛け扇風機の設置等の工事を進め、より良好な教育環境の確保を図っていく。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

適正な教育環境の確保の観点から、施設は状況に応じた維持・整備が必要になるが、全面的にリニューアルされる改築や、大規模改造工事から、施設の延命化のみを中心とした工事に切り替わる中、維持・整備の需要は今後さらに増大すると予測される。

引き続き、必要性等を精査し、効率的且つ効果的な整備を進めていく。

# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり  
(予算費目名) 文教施設災害復旧費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

文教施設が災害を受けた場合の復旧を行う。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	137,175	120,000	120,000	120,000
決算	113,850		4,495	
人件費(A)	9,020	9,020	9,020	700
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	122,870	9,020	13,515	120,700

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
災害復旧工事の毎年度復旧(完了率)	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	-	100	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

文教施設が災害を受けた場合の復旧を行う。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

6月の豪雨及び10月の台風21号により、三ヶ日西小学校校舎北側崩土除去他工事ほか、文教施設9施設10箇所で土砂崩れ・浸水等の被害が発生したため、これらの復旧に要する経費を執行した。台風の被害による施設の普及工事を100%完了することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	文教施設災害復旧事業					120,700	120,000	0.1				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						120,700	120,000	0.1				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 文教施設災害復旧事業

## ◇事業目的・事業対象

暴風、洪水、地震等の天災によって起こる文教施設の損害を原状に復旧するために災害復旧事業を実施して、市内小・中学校を適正に運営し、児童・生徒が安心して学べる環境づくりを図る。

## ◇事業の概要

文教施設が受けた場合の災害復旧費

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30	-	一般会計	自治事務(法令義務)	公立学校施設災害復旧費国庫負担金	-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	137,175	120,000	120,000	120,000
	決算	113,850		4,495	
	国・県支出				13,333
	市債				55,000
	その他				
	一般財源	113,850		4,495	51,667
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		9,020	9,020	9,020	700
人工	正規	1.2	1.2	1.2	0.1
	再任用(h31)	0.1	0.1	0.1	
	再任用(h26)	0.1	0.1	0.1	
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
災害復旧工事の毎年度復旧(完了率)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	-	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

文教施設が受けた場合の災害復旧費

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

6月豪雨及び10月の台風21号により、三ヶ日西小学校校舎北側崩土除去他工事ほか、文教施設9施設10箇所です砂崩れ・浸水等の被害が発生したため、これらの復旧に要する経費を執行した。  
台風の被害による施設の普及工事を100%完了することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

復旧工事等を行った施設  
文教施設9施設(10箇所)

主な工事内容

法面、フェンス及びプール日除け屋根等の復旧工事

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

災害に備えての予備的予算である。災害時早急に復旧事業を実施するためには、現状予算は必要である。  
災害時の円滑な対応を要するため、対応体制の見直しや対応マニュアルの策定を検討する。

# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり  
(予算費目名) 教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。</li> <li>すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。</li> </ul>

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲あふれる人材を適材適所に配置する。</li> <li>魅力ある優秀な教職員を確保する。</li> </ul>
---

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	12,632	11,780	13,614	13,757
決算	9,989	10,433	11,251	
人件費(A)	129,920	129,920	199,780	199,780
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	139,909	140,353	211,031	213,537

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
教員採用試験志願者数	人	600	目標	600	600	600	600
			実績	593	596	557	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲あふれる人材を適材適所に配置する。</li> <li>魅力ある優秀な教職員を確保する。</li> </ul>
---

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<p>&lt;進捗&gt; 遅れている</p> <p>全国的な教員離れの傾向と同じく、昨年度より志願者数が減少したため、来年度に向けて、志願者数を増やすための新たな方策を講じる必要がある。</p>
--

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	教職員管理運営経費					213,537	13,757	27.1			3.6
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						213,537	13,757	27.1			3.6

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800



# 事業シート (事業名) 教職員管理運営経費

## ◇事業目的・事業対象

- ・意欲にあふれ、浜松市の教育を推進するに相応しい指導力、資質・能力を有する人材を適材適所に配置する。
- ・市内小中学校の退職及び欠員補充するとともに、夢と希望をもって学び続ける「世界にはばたく市民」を育成するに相応しい教員を発掘する。
- ・市内小中学校に勤務する教職員の給与等を決定、支給手続きを行う。

## ◇事業の概要

- ・市内小中学校の教職員の人事管理、給与管理を行う。
- ・市内小中学校の教職員の退職及び欠員補充のため採用試験を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H1		一般会計	自治事務(その他)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	-	-	-

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	12,632	11,780	13,614	13,757
	決算	9,989	10,433	11,251	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	9,989	10,433	11,251	13,757
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		129,920	129,920	199,780	199,780
人工	正規	17.8	17.8	27.1	27.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	1.9	1.9	3.6	3.6

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
教職員の移動率						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	25	25	25	25		25
実績値	27.3	27	24.8			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
教員採用試験志願者数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	600	600	600	600		600
実績値	593	596	557			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・市内小中学校の教職員の人事管理、給与管理を行う。
- ・市内小中学校の教職員の退職及び欠員補充のため採用試験を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・適正な人事管理及び給与管理は行うことができた。
- ・教員採用選考試験の志願者数が、昨年度より減少したため、志願者を増やすための新たな方策を講じる必要がある。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・適正な人事管理及び給与管理の実施。
- ・教員採用選考試験の志願者数を増やすための新たな方策の実施。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

本市が求める優秀な教員を確保するため、「はままつの先生プロジェクト」の充実や大学訪問による教員ガイダンスの実施・拡大を図っていく。また、新たな方策として、対象を現役高校生まで拡大し、学校訪問等を通じて、教員の魅力を伝えていくことを実施していく。

平成30年度

(管理番号)

02 02 07 13 005105000 01

(担当課)

教職員課

(責任者)

宮崎 正

(作成日)

平成 30 年 7 月 1 日

## 行財政改革の取り組み (事業名) 教職員管理運営経費

### ◇取組概要

平成29年4月1日に静岡県から浜松市へ教職員の給与負担等が移譲されたことを契機に、現在各学校の教職員が行っている学校事務業務の一部を学校事務センター(以下「センター」という。)へ集約化することや、現在教員が担当している事務の一部をその学校の事務職員に移管することで事務の効率化を図る。効率化により得られる効果は、教員の子供と向き合う時間の拡充に充てる。

### ◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

### ◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 5004

取組事項名 学校事務業務の効率化

個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

### ◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	教員の学校事務業務の削減時間【全校合計】(単位:時間)	計画値	センター設置準備	△34,500	△92,250	(H31)△154,500
		実績値	完了	△17,250		
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

### ◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 遅れている》

【平成29年度】学校事務センター設置初年度であり、まずは、学校事務センター業務の確実性に重点を置いて取り組んだ。結果としては、学校から学校事務センターへの業務移管があまり進まず、教員の学校事務業務の削減時間も計画値を達成することはできなかった。

# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり

(予算費目名) 小学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

## ◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

### ◇政策の概要

- ・教職員の健康管理
- ・用務員業務の委託化
- ・きめ細かな指導のための教育体制の充実

### ◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	429,160	443,311	528,318	556,903
決算	396,420	410,020	493,529	
人件費(A)	8,520	10,220	10,780	10,780
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	404,940	420,240	504,309	567,683

### ◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
用務員業務新規委託校数	校	14	目標	2	3	1	2
			実績	2	3	1	
健康診断受診率	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				

### ◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- ・教職員の健康管理
- ・用務員業務の委託化
- ・きめ細かな指導のための教育体制の充実

### ◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- ・用務員の退職不補充により、計画通り業務委託を進めることができた。
  - ・教職員の定期健康診断等を実施したことにより、生活習慣病等の早期発見に寄与することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	教職員管理事業			○		420,130	411,030	1.1			0.5
2	学校教育指導支援員配置事業			○		147,553	145,873	0.2			0.1
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						567,683	556,903	1.3			0.6

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 教職員管理事業

## ◇事業目的・事業対象

- ・小学校教職員の健康管理のため、定期健康診断等を実施する。
- ・小学校の環境整備を行うため、清掃等用務員業務を委託化する。

## ◇事業の概要

### 人事管理事業

- ・教職員健康診断の実施
- ・教職員指定年齢健康診断の実施
- ・教職員結核健康診断の実施
- ・教職員人間ドックの実施
- ・臨時的任用教職員健康診断の実施
- ・教職員ストレスチェック事業の実施

### 学校用務員業務委託事業

- ・正規用務員の退職不補充や職種変更を行い、民間活力を導入し用務員業務の委託化を図る。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H1	—	一般会計	自治事務(法令義務)		—	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	271,515	283,466	383,602	411,030
	決算	260,713	274,698	364,089	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	260,713	274,698	364,089	411,030
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		5,580	7,280	9,100	9,100
人工	正規	0.3	0.8	1.1	1.1
	再任用(h31)	0.5			
	再任用(h26)				
	非常勤	0.6	0.6	0.5	0.5

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
健康診断受診率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
用務員業務新規委託校						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2	3	1	2		14
実績値	2	3	1			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

人事管理事業

- ・教職員健康診断の実施
- ・教職員指定年齢健康診断の実施
- ・教職員結核健康診断の実施
- ・教職員人間ドックの実施
- ・臨時的任用教職員健康診断の実施
- ・教職員ストレスチェック事業の実施

学校用務員業務委託事業

- ・正規用務員の退職不補充や職種変更を行い、民間活力を導入し用務員業務の委託化を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・用務員の退職不補充により、小学校で1校の業務委託を進めた。
- ・教職員の定期健康診断等を実施したことにより、生活習慣病等の早期発見に寄与することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・用務員の退職不補充により、小学校で1校の業務委託を進めた。
- ・教職員の定期健康診断等を実施したことにより、生活習慣病等の早期発見に寄与することができた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・行政サービス水準の維持・向上に十分配慮しつつ、用務員業務の民間委託を推進し、職員数の削減に取り組む。
- ・民間活力を導入することにより、さらなる良好な学校環境の整備を図る。

平成30年度

(管理番号)  
02 02 07 14 005105000 01

(担当課)  
教職員課

(責任者)  
宮崎 正

(作成日)  
平成 30 年 7 月 1 日

## 行財政改革の取り組み (事業名) 教職員管理事業

### ◇取組概要

正規用務員の退職不補充や職種変更により、学校用務員業務を民間委託化し、事業の効率化に取り組み、市の財政負担を軽減する。

### ◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

### ◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 5002

取組事項名 学校用務員業務の民間委託の推進

個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

### ◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	新たな学校用務員業務民間委託数(校)	計画値	2	3	3	2	10(累計)
		実績値	2	3	3		
2		計画値					
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)		累積	6,754	11,425	32,774	40,763	91,716

### ◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》

【平成29年度】新たに、小学校3校で用務員業務委託を実施した。



# 事業シート (事業名) 学校教育指導支援員配置事業

## ◇事業目的・事業対象

児童へのきめ細かな指導を行うため、小学校に支援員・補助員を配置し、教育体制の充実を図る。

## ◇事業の概要

- ・学校図書館補助員の配置
- ・小学校学習支援員の配置
- ・複式学級等指導支援員の配置
- ・小学校指導支援員の配置

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H11	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立小中学校図書館補助員設置要綱外	—	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	157,645	159,845	144,716	145,873
	決算	135,707	135,322	129,440	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	135,707	135,322	129,440	145,873
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		2,940	2,940	1,680	1,680
人工	正規	0.3	0.3	0.2	0.2
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	0.3	0.3	0.1	0.1

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
支援員、補助員の配置数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	229	229	214	212		212
実績値	229	216	207			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・学校図書館補助員の配置
- ・小学校学習支援員の配置
- ・複式学級等指導支援員の配置
- ・小学校指導支援員の配置

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・学校図書館補助員 96人
- ・小学校学習支援員 99人
- ・複式学級等指導支援員 10人
- ・小学校指導支援員 2人

小学校に支援員・補助員を適正に配置することにより、児童へのきめ細かな指導ができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

学校の実情に応じた支援員・補助員の配置により、児童へのきめ細かな指導を行うことができ、教育体制の充実が図られた。

- ・学校図書館補助員 96人 ・小学校学習支援員 99人
- ・複式学級等指導支援員 10人 ・小学校指導支援員 2人

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

学校教育指導支援員配置事業は、学校や保護者からの意見・ニーズを踏まえ、適正な配置に努めていく必要がある。

# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり  
(予算費目名) 中学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」	子育て・教育
30年後の姿	地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。</li> <li>すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。</li> </ul>

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

- ・教職員の健康管理
- ・用務員業務の委託化
- ・きめ細かな指導のための教育体制の充実

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	138,329	145,188	218,144	233,944
決算	122,643	134,104	200,404	
人件費(A)	6,560	8,260	10,080	10,080
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	129,203	142,364	210,484	244,024

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
用務員業務新規委託校数	校	9	目標	2	1	1	2
			実績	2	1	1	
健康診断受診率	%	100	目標	100	100	100	100
			実績	100	100	100	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- ・教職員の健康管理
- ・用務員業務の委託化
- ・きめ細かな指導のための教育体制の充実

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- |      |      |
|------|------|
| <進捗> | 計画通り |
|------|------|
- ・用務員の退職不補充により、計画通り業務委託を進めることができた。
  - ・教職員の定期健康診断等を実施したことにより、生活習慣病等の早期発見に寄与することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	教職員管理事業			○		200,037	190,937	1.1			0.5	
2	学校教育指導支援員配置事業			○		43,987	43,007	0.1			0.1	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						244,024	233,944	1.2			0.6	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) 教職員管理事業

## ◇事業目的・事業対象

- ・中学校教職員の健康管理のため、定期健康診断等を実施する。
- ・中学校の環境整備を行うため、清掃等用務員業務を委託化する。

## ◇事業の概要

### 人事管理事業

- ・教職員健康診断の実施
- ・教職員指定年齢健康診断の実施
- ・教職員結核健康診断の実施
- ・教職員人間ドックの実施
- ・臨時的任用教職員健康診断の実施
- ・教職員ストレスチェック事業の実施

### 学校用務員業務委託事業

- ・正規用務員の退職不補充や職種変更を行い、民間活力を導入し用務員業務の委託化を図る。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H元	—	一般会計	自治事務(法令義務)		—	—	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	94,280	101,109	175,829	190,937
	決算	86,723	94,617	164,663	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	86,723	94,617	164,663	190,937
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		4,600	6,300	9,100	9,100
人工	正規	0.2	0.7	1.1	1.1
	再任用(h31)	0.5			
	再任用(h26)				
	非常勤	0.5	0.5	0.5	0.5

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
健康診断受診率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100		100
実績値	100	100	100			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
用務員業務新規委託校						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2	1	1	2		9
実績値	2	1	1			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

人事管理事業

- ・教職員健康診断の実施
- ・教職員指定年齢健康診断の実施
- ・教職員結核健康診断の実施
- ・教職員人間ドックの実施
- ・臨時的任用教職員健康診断の実施
- ・教職員ストレスチェック事業の実施

学校用務員業務委託事業

- ・正規用務員の退職不補充や職種変更を行い、民間活力を導入し用務員業務の委託化を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・用務員の退職不補充により、中学校で1校の業務委託を進めた。
- ・教職員の定期健康診断等を実施したことにより、生活習慣病等の早期発見に寄与することができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・用務員の退職不補充により、中学校で1校の業務委託を進めた。
- ・教職員の定期健康診断等を実施したことにより、生活習慣病等の早期発見に寄与することができた。

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・行政サービス水準の維持・向上に十分配慮しつつ、用務員業務の民間委託を推進し、職員数の削減に取り組む。
- ・民間活力を導入することにより、さらなる良好な学校環境の整備を図る。

平成30年度

(管理番号)  
02 02 07 15 005105000 01

(担当課)  
教職員課

(責任者)  
宮崎 正

(作成日)  
平成 30 年 7 月 1 日

## 行財政改革の取り組み (事業名) 教職員管理事業

### ◇取組概要

正規用務員の退職不補充や職種変更により、学校用務員業務を民間委託化し、事業の効率化に取り組み、市の財政負担を軽減する。

### ◇行財政改革の視点

### ◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 5002

取組事項名 学校用務員業務の民間委託の推進

個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

### ◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	新たな学校用務員業務民間委託数(校)	計画値	2	1	1	2	6(累計)
		実績値	2	1	1		
2		計画値					
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)		累積	1,024	5,532	2,410	-8,220	746

### ◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

【平成29年度】新たに、中学校1校で用務員業務委託を実施した。

## 事業シート (事業名) 学校教育指導支援員配置事業

### ◇事業目的・事業対象

生徒へのきめ細かな指導を行うため、中学校に支援員・補助員を配置し、教育体制の充実を図る。

### ◇事業の概要

- ・学校図書館補助員の配置
- ・養護教諭補助員の配置
- ・中学校指導支援員の配置

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H11	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立小中学校図書館補助員設置要綱外	—	—	○

### ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	44,049	44,079	42,315	43,007
	決算	35,920	39,487	35,741	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	35,920	39,487	35,741	43,007
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		1,960	1,960	980	980
人工	正規	0.2	0.2	0.1	0.1
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤	0.2	0.2	0.1	0.1

### ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
支援員、補助員の配置数						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	71	70	69	69		69
実績値	71	68	66			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						



◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・学校図書館補助員の配置
- ・養護教諭補助員の配置
- ・中学校指導支援員の配置

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・学校図書館補助員 48人
- ・養護教諭補助員 13人
- ・中学校指導支援員 5人

中学校に支援員・補助員を適正に配置することにより、生徒へのきめ細かな指導ができた。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

学校の実情に応じた支援員・補助員の配置により、生徒へのきめ細かな指導を行うことができ、教育体制の充実が図られた。

- ・学校図書館補助員 48人 ・養護教諭補助員 13人
- ・中学校指導支援員 5人

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

・学校教育指導支援員配置事業は、学校や保護者からの意見・ニーズを踏まえ、適正な配置に努めていく必要がある。

# 政策シート

(政策名) 子どもの生活や学びを支える教育環境づくり  
(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとつづくり

◇政策の概要

青少年の健全育成や市民の健康増進のため、かわな野外活動センターの整備、充実を図る。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	107,308	117,119	96,174	153,907
決算	107,172	117,119	96,072	
人件費(A)	21,000	21,000	21,000	21,000
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	128,172	138,119	117,072	174,907

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
施設利用者数(人)	人	45320	目標	45000	45000	45000	45000
			実績	38840	38622	39341	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

青少年の健全育成や市民の健康増進のため、かわな野外活動センターの整備、充実を図る。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り  
青少年の健全育成や市民の健康増進のため、かわな野外活動センターの整備、充実を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	かわな野外活動センター管理 運営事業			○		174,907	153,907	3.0				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						174,907	153,907	3.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

# 事業シート (事業名) かわな野外活動センター管理運営事業

## ◇事業目的・事業対象

【事業目的】 自然の中での共同生活を通じて、青少年の健全な育成と市民の健康増進を図るため、施設の維持管理を行うとともに体験学習に関する活動計画作成への支援や活動中における引率者への支援を行う。  
 【事業対象】 市内小中学校

## ◇事業の概要

【維持管理事業】  
 自然の中での共同生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の健康の増進を図るため、かわな野外活動センターの維持管理を行う。  
 【施設整備事業】  
 かわな野外活動センター施設の維持及び安全を保つため、施設整備を行う。

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S60		一般会計	自治事務(その他)	浜松市かわな野外活動センター条例・施行規則	-	-	○

## ◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	107,308	117,119	96,174	153,907
	決算	107,172	117,119	96,072	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	107,172	117,119	96,072	153,907
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		21,000	21,000	21,000	21,000
人工	正規	3.0	3.0	3.0	3.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

## ◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
施設利用者数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	45000	45000	45000	45000		45320
実績値	38840	38622	39341			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

【維持管理事業】  
自然の中での共同生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の健康の増進を図るため、かわな野外活動センターの維持管理を行う。

【施設整備事業】  
かわな野外活動センター施設の維持及び安全を保つため、施設整備を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

【維持管理事業】  
自然の中での共同生活を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民の健康の増進を図るため、かわな野外活動センターの維持管理を行った。

【施設整備事業】  
かわな野外活動センター施設の維持及び安全を保つため、施設整備を行った。

・事業の見直し

実施結果

大項目  小項目  /  事業費  人工

今後の方向性

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・指定管理により施設の管理運営を継続していく。
- ・施設の老朽化に対応するために、施設の維持管理を計画的に実施していく。